

～ニーズに応じた付加価値向上による市場外流通への販路開拓～ 遊子漁業協同組合（愛媛県宇和島市）

目詰まりの現状

当地域は宇和海の地形を利用した漁船漁業や養殖業が盛んであり、特にマダイの養殖は組合員の大半が従事しているが、近年は養殖業者の休廃業等があり、取扱い尾数が減少している。

加えて、従来の市場流通を中心としたラウンドでの鮮魚出荷では、全国から集められた魚の相場を基に価格が決定されるため、漁業所得が不安定となっている。

そこで、付加価値向上のため、当組合でフィレや角切り等の加工や、市場外流通に着手したものの、手作業中心のため大量注文や単価引下げ等に対応できていない。

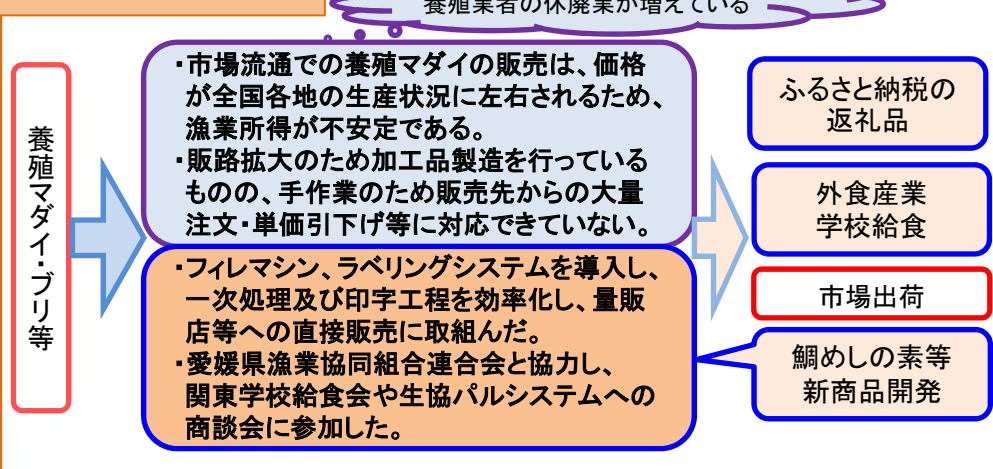
プロジェクトの概要

- マダイフィレマシン、ラベリングシステムを導入し、加工工程でボトルネックとなっていた一次処理と印字工程を機械化し、生産量増加を図った。
- 従来のフィレや角切りだけでなく、短冊やスライス等の加工品のバリエーションを増やし、飲食店や量販店等と直接取引を行った。
- 愛媛県漁業協同組合連合会と協力し、学校給食への納品を強化した。

取組による成果

- フィレマシン導入により処理量が2倍以上に増加。また、刃の角度を微調整できることで、歩留まりも手作業と同程度の仕上がりとなり、大量生産に期待。
- 地元飲食店のインターネット販売用商品に、マダイスライスを納品。以後、継続した取引に成長。
- 学校給食やふるさと納税の返礼品に採用され、市場外流通量が拡大。

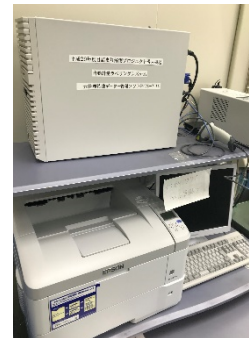
プロジェクトフロー



フィレマシン



ラベリングシステム



ふるさと納税返礼品



(平成31年3月現在)